

平成24年度初任者研修北陸地区研修会実施報告（概要）

8月1日（水）・2日（木）・3日（金）の3日間、本年度初任者研修地区研修会が石川県私立中学高等学校協会の実施で石川県金沢市のKKRホテル金沢を会場に開催され、富山・石川・福井・長野の4県から初任者38名が参加した。

1日午後から開催された開会式では、主催者を代表して当研究所の理事であり初任者研修等事業検討委員会の平方邦行委員長及び実施県を代表して石川県私立中学高等学校協会の有田利一会長から、教員として研修の大切さに気付き、また担当教科だけではなく幅広い知識を吸収し、そして私学教員同士のネットワーク創りを行って欲しいとの挨拶がなされた。



開会式に続いて研修1「私学教員の心構え」、研修2「私学の現状と課題」と題した私学教員としての基礎となる2つの講演、そして研修3として2日目の分散会に備えてのオリエンテーションが行われ、自己紹介や勤務校の紹介後、分散会の運営について協議した。

2日目には「カウンセリング」、「情報危機管理」、「生徒指導」、「学習指導」について地元の校長先生方による講義が行われた。各講義終了後は、分散会が実施され、生徒指導と学習指導を中心に4グループに分かれて協議が進められた。

分散会終了後、「経験交流会」が開かれ、初任者をはじめ運営役員及び指導員等が一堂に会し一食事を共にしながら懇談が行われた。



最終日となる3日目は、各分散会の協議内容のまとめが各グループの代表者により報告され、指導助言者からは補足報告等があった。報告後には、平方邦行理事が「これからの教育－21世紀型教育－」と題して特別講義を行い、「グローバル化社会における教育、21世紀に活躍できるために身につけなければならない教育など、子ども達の未来を考えた教育をめざして欲しい。」と説いた。閉会式においては修了証が授与され、3日間の研修を終了した。

(2012.8.16)